

Cloudnから

WebARENA 新 Pro4、WebARENA SuitePROV4、

WebARENA Indigo への

データ移行に伴うお客様作業と注意事項詳細



Index

loudn から	1
/ebARENA 新 Pro4、WebARENA SuitePROV4、	1
/ebARENA Indigo への	1
^デ ータ移行に伴うお客様作業と注意事項詳細	1
はじめに	3
新規お申込み(新 Pro4)	7
新規お申込み(SuitePRO V4)	12
新規お申込み(Indigo)	17
移行元「Cloudn」でのダウンロードリンク取得	22
「WebARENA 新 Pro4」への移行(データインポート)	23
「WebARENA SuitePRO V4」への移行(データインポート)	26
6.1.移行ツールを使った Cloud n OS 領域の移行 – 「OS ディスクのインポート」(新 Pro4/PRO4)	27
6.2. 移行ツールを使った Cloudn データディスクの移行 – 「ストレージのインポート」(新 Pro4/PRO) 4)
「WebARENA Indigo」への移行(データインポート)	39
.移行後の NIC 情報変更(IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、DNS サー	-ノじ
-変更)(CentOS6.5)	44
. 移行後の NTP サーバー情報変更(CentOS6.5)	46
【参考】OS ごとに「NIC 情報変更」と「NTP サーバー情報変更」の方法を記載します。	47



はじめに

・このマニュアルは、NTT コミュニケーションズの「Cloudn」から「WebARENA 新 Pro4」「WebARENA SuitePROV4」「WebARENA Indigo」へ移行されたお客さま向けに、初めてご利用になるための一般的な設定手順をご案内するものです。

移行先サービスの流れに従って進んでください。

「WebARENA 新 Pro4」へ移行されるお客さま

番号	内容	頁数
1	新規お申込み(新 Pro4)	P7-P11
2	移行元「Cloudn」でのダウンロードリンク取得	P22
3	「WebARENA SuitePRO V4」への移行(データインポート)	P23-P25
4	OS ディスクのインポート	P27 – P30
5	ストレージのインポート	P31 – P38
6	移行後の NIC 情報変更(CentOS6.5)	P44-P45
7	移行後の NTP サーバー情報変更(CentOS 5.6)	P46
*	移行後の NIC 及び NTP サーバー情報変更(CentOS6.5 以外の OS をご利用の場合)	P47-P57

「WebARENA SuitePRO V4」へ移行されるお客さま

番号	内容	頁数
1	新規お申込み(SuitePRO V4)	P12-P16
2	移行元「Cloudn」でのダウンロードリンク取得	P22
3	「WebARENA SuitePRO V4」への移行(データインポート)	P26
4	OS ディスクのインポート	P27-P30
5	ストレージのインポート	P31-P38
6	移行後の NIC 情報変更(CentOS6.5)	P44-P45
7	移行後の NTP サーバー情報変更(CentOS 5.6)	P46
*	移行後の NIC 及び NTP サーバー情報変更(CentOS6.5 以外の OS をご利用の場合)	P47-P57

「WebARENA Indigo」へ移行されるお客さま

番号	内容	頁数
1	新規お申込み(Indigo)	P17-P21
2	移行元「Cloudn」でのダウンロードリンク取得	P22



3	「WebARENA Indigo」への移行(データインポート)	P39 – P43
4	移行後の NIC 情報変更(CentOS6.5)	P44-P45
5	移行後の NTP サーバー情報変更(CentOS 5.6)	P46
*	移行後の NIC 及び NTP サーバー情報変更(CentOS6.5 以外の OS をご利用の場合)	P47-P57



Cloudn から WebARENA への移行方式として、下記複数のパターンをご案内いたします。お客さま自身で移行方式を選択の上、作業を実施してください。

■移行方式

2つの移行方式をご案内しております。

【方式1:移行ツールの利用】

- ① Cloudn で仮想サーバーのディスクのダウンロードを行い、払い出される URL を取得してください。 (3. 移行元「Cloudn」でのダウンロードリンク取得 を参照)
- ② 「新 Pro4」「SuitePRO V4」もしくは「Indigo」のコントロールパネルで、①の URL を入力し、Cloudn でご利用している仮想サーバーのデータを移行してください。(4. 「新 Pro4」「WebARENA SuitePRO V4」への移行(データインポート)、もしくは 5. 「WebARENA Indigo」への移行(データインポート)を参照)
- ③ データの移行が完了したら、仮想サーバーを起動し、必要な設定項目の変更を行ってください。(6.7. を参照))
- ④ 追加ディスクのデータは、コマンドを使って移行してください。

〈コマンド〉

CentOS/Ubuntu: rsync

例) /home ディレクトリ以下すべてをコピーする場合:

SuitePRO V4 もしくは Indigo のコンソールから下記コマンドを実施

rsync --progress -avH e "ssh -p 22" username@ipaddress:/home/ /home/.

※Cloudn でセキュリティグループの設定をしている場合は、新 Pro4、SuitePRO V4 もしくは Indigo の IP の許可設定を追加しておく。

Windows: robocopy

【方式2:新規サーバー構築】

- ① 「新 Pro4」「SuitePRO V4」もしくは「Indigo」のコントロールパネルで、仮想サーバーを新規構築してください。
- ② 任意のデータ領域をコマンドを使って移行してください。

〈コマンド〉

CentOS/Ubuntu: rsync

例) /home ディレクトリ以下すべてをコピーする場合:

新 Pro4、SuitePRO V4 もしくは Indigo のコンソールから下記コマンドを実施

rsync --progress -avH e "ssh -p 22" username@ipaddress:/home/ /home/.

※Cloudn でセキュリティグループの設定をしている場合は、新 Pro4、SuitePRO V4 もしくは Indigo の IP の許可設定を追加しておく。

Windows: robocopy



- ・このマニュアルに記載のない事項や、サーバー利用開始後の追加設定等に関しましてはオンラインマニュアルをご参照ください。
 - ■新 Pro4、SuitePRO V4 マニュアル https://web.arena.ne.jp/support/suiteprov4/manual/
- ・新 Pro4 のコントロールパネル
 - ▶ コントロールパネル https://compas.arena.ne.jp/ お客さまのご契約情報や支払い情報の閲覧することができます。また、サーバーに対する設定・変更やサーバーの状態を確認するためのコントロールパネルへのログインが可能です。
- ・SuitePROV4 のコントロールパネル SuitePRO V4 には二つのコントロールパネルがございます。
 - ➤ 契約情報管理用コントロコールパネル https://customer.arena.ne.jp/suitepro/ お客さまのご契約情報やお支払い情報の閲覧・変更、有料オプションのお申し込みなどを行うためのコントロールパネルです。連絡先メールアドレスにはお支払いやサービス提供に関する重要なご連絡をお送りしますので、常に最新の状態を保つようにしてください。
 - ▶ サーバー管理用コントロールパネル https://pro4.arena.ne.jp/login お客さまのサーバーに対する設定・変更や、サーバーの状態を確認するためのコントロールパネルです。
- ・Indigo のコントロールパネル
 - ➤ コントロールパネル https://indigo.arena.ne.jp/
 お客さまのご契約情報や支払い情報の閲覧することができます。また、サーバーに対する設定・変更やサーバーの状態を確認するためのコントロールパネルへのログインが可能です。
- ・WebARENA ではチャットボットやオンラインマニュアル、FAQ 等によるサポートを提供しております。ぜひご活用ください。

新 Pro4、SuitePRO V4 お客さまサポート
https://help.arena.ne.jp/hc/ja/categories/360002570494
Indigo お客さまサポート
https://help.arena.ne.jp/hc/ja/sections/360006053014
名づけてねっと お客さまサポート
https://web.arena.ne.jp/support/nadukete/

・このマニュアルは随時情報のアップデートを実施しております。 オンラインから都度最新版を取得するようお願いいたします。 https://web.arena.ne.jp/support/cloudn migration/



1 新規お申込み(新 Pro4)

Cloudn からのサーバー移行に伴い、新たに「WebARENA 新 Pro4」を利用される際は、オンラインお申込みから行います。

https://compas.arena.ne.jp/corporatesignup?agencycode=&brand=WebArena&campaign=&coupon=&lang=ja&service_code=Pro4

	Pro4登録へようこそ!	
契約者名/契約会社名	部署名	
担当者ファーストネーム	担当者ラストネーム	
メールアドレス	Japan (+81) 🗸 電話番号	
パスワード		
D業情報		
会社番号	情報を取得	
会社URL		
排地		
市区町村	都遊府県 郵便番号	
	代理店コード	
Japan		
Japan 2<u>ーボンコードをお締ちでした</u>4 クーボンコード	ら入力してください 適用する	

契約者名/契約会社名、部署名、担当者ファーストネーム、担当者ラストネーム、メールアドレス、電話番号、パスワード、欄に入力してください。

次に企業情報として、会社番号(※)に法人番号を入力してください。会社番号を入力後、"情報を取得"ボタンをクリックしてください。国税庁法人番号公表サイトから取得された企業情報が、番地、市区町村、都道府県、郵便番号に自動入力されます。会社 URL はお客さまにて入力してください。

法人番号が不明な際は、下記の法人番号検索サイトにてご確認ください。 https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/

※会社番号欄は法人番号を入力する欄です。新 Pro4 は法人様向けサービスです。サインアップには法人番号が必要となります。まだ法人登録されていない場合は会社番号に「0121212121212121」を入力し、その他の企業情報もお客さま自身で入力してください。

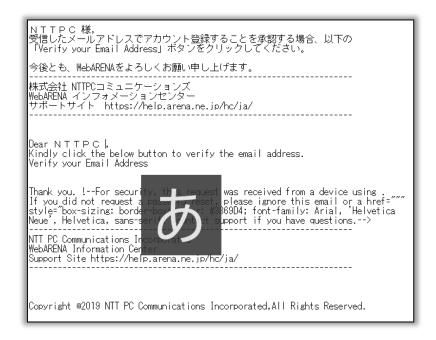


サインアップ前に、必ず、クーポンコードを入力し、"適用する"ボタンをクリックして、クーポンを適用した状態にしてください。この時、ご契約者さま向けに NTTCom から通知されている「月額利用料金最大 3 か月無料」のクーポンコードを入力してください。

最後の項目で「代理店コード」があります。弊社営業担当者などから情報を確認し入力頂きますよう、お願いいたします。

クーポンコードが適用されていることを確認の上、サービス利用規約に同意をし、**"サインアップ"**ボタンをクリックしてください。

入力したメールアドレス宛に、件名『[WebARENA]メールアドレスの確認 User Email Verification』のメールアドレス確認メールが送信されます。



メール本文内に記載されている「Verify your Email Address」のリンクをクリックしてください。
※**この時、サインアップの画面は閉じないでください。**サインアップ画面を閉じてしまった場合、メールアドレスの確認が完了していたら、サインアップ画面下の"サインイン"をクリックしてサインインしてください。電話番号の確認、が開始されます。

クーポンコードをお持ち	でしたら入力して く ださい		
クーポンコード		適用する	
サインアップすることで	<u>サー<i>ビス利用規約</i></u> を同意し	ます	
	サインアッ	ップ	



メールアドレス確認が完了したら、電話番号の確認画面へ遷移します。

自動発信番号か SMS を選択し、"確認コードを送信する"をクリックしてください。選択した方法で確認コードが配信され、確認コードの入力画面に遷移します。



確認コード欄に受信したコードを入力し、"入力する"をクリックしてください。 確認コードが正常に送信されたら、画面右上に「登録された電話番号に OTP が送信されました」とメッセージが表示されます。





確認コードの入力後、正常に処理がされたら、画面右上に「電話番号が正常に確認されました」と表示され、支払い情報の確認画面へ遷移します。



新 Pro4 で選択可能な支払い方法は「Invoice(請求書)」支払いのみです。 「優先の支払い方法」の選択で**"Invoice"**を選択してください。





請求書先情報(受信者名、番地、市区町村、都道府県、郵便番号)を入力し、"提出"ボタンをクリックしてください。



"提出"ボタンをクリックすると、画面に「サインアップ依頼がレビュー及び承認のため提出されました。」 と表示されます。

NTTPC 社にて、お客さまの登録情報を確認の上、承認を実施いたします。通常 3 営業日ほどかかります。

NTTPC 社での承認作業が完了したら、「[WebARENA](法人ユーザーが正常にサインアップされました)Corporate user Sign-up Successful」のメールが、連絡先メールアドレス宛に配信されます。 このメールを受信したら、メール本文に記載の Link https://compas.arena.ne.jp にアクセスし、登録したメールアドレスとパスワードでログインしてください。





2 新規お申込み(SuitePRO V4)

Cloudn からのサーバー移行に伴い、新たに「WebARENA SuitePROV4」を利用される際は、オンラインお申込みから行います。

移行特典をご利用の際は、必ず下記サイトの"2移行特典(Cloudn からの移行キャンペーン)"内容をご確認の上、【特典付きお申し込み】からお申し込みください。

https://web.arena.ne.jp/support/cloudn_migration/

移行特典を利用しない場合は、サービスサイトの「オンラインお申し込みはこちら」から、お申し込みください。

利用するリージョンを決め、お申込みボタンを押すと初めに「利用規約の確認画面」が表示されます。ページ内の利用規約をご確認頂き、同意し申込み画面に処理を進めてください。





画面を進めると「契約情報の入力」画面用するリージョンを決め、お申込みボタンを押すと初めに「利用 規約の確認画面」が表示されます。ページ内の利用規約をご確認頂き、同意し申込み画面に処理を進めて ください。





パスワード*	*パスワードはお客さま自身で管理願います *8~32文字の英字、数字、記号=[]{}+#^!?で混在のパスワードを記入してください
	確認のための再入力
ご契約者名*	(例)法人の場合:株式会社アリーナ、個人の場合:山田 太郎
部署名	(例) 法人の場合:システム部、個人の場合:記入不要
担当者名*	性 (例) 山田 (N 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1) 担当者名(姓)に続けて移行元Cloudⁿの契約番号 (N番号) を記入してください。 (N番号の記入箇所を当初ご案内から変更いたしました。) Cloud ⁿ のご契約が確認できない場合、移行キャンペーンの特典対象外となります。
	名 (例) 太郎

移行特典をご利用の場合、担当者名(姓)の欄に、姓に続けて Cloudn ご契約番号を記入してください。

一通りの情報を入力された後、最後の項目で「代理店コード」があります。弊社営業担当者などから情報を確認し入力頂きますよう、お願いいたします。情報入力が完了された後に登録が完了となります。



市区郡*	(例) 千代田区、出雲市、簓川郡
町名番地*	(例)七番町1−1−1七番町ビル101号室 ※ビル名・部屋番号・○○様方など省略せずにご入力ください。
電話番号*	(例)03-0000-0000
昼間の連絡先	(例)090-0000-0000
FAX番号	(例) 03-0000-0000
連絡先 メールアドレス*	(例)yamada@arena.ne.jp 確認のための再入力
その他の メールアドレス	(例) suitepro@arena.ne.jp 連絡先メールアドレス以外にも開通の連絡を送りたい場合にご記入ください。 複数のメールアドレスに送りたい場合は、、(カンマ)で区切ってご記入ください。
代理店コード	
•	前に戻る
1	

(1)請求書・口座振替でお申し込みの場合について

最終画面の印刷と必要事項の入力・押印をし、NTTCP へ送付してください。書類が NTTPC に到着後、5 営業日以内に開通します(書類に不備がなかった場合)。開通が完了すれば、サービスの利用が開始できる状態となります。

※仮想 UTM など有償オプションの申し込みがある場合は、最終画面の印刷と一緒に、必要事項を記入の上、申請書を送付してください。(DNS アウトソーシングや Web 改ざん検知サービスは契約者コントロールパネルからお申し込みください。)

https://web.arena.ne.jp/pdf/V26.pdf

(2) クレジットカードでお申し込みの場合について

最終画面で登録が完了となり、サービスの利用が開始できる状態となります。

※開通完了後、メールにて「【重要】WebARENA SuitePRO V4 タイプ 開通のご案内」が登録されたメールアドレスに届きます。こちらに下記の情報が記載されておりますので保管ください。

「レスに曲とよう。こう		しのうようのと休日くだとい。
設定項目		具体的な値
ご契約情報	お客様番号	[0.0.x.x-xxxx]形式のユニークな番号
	ご契約サービス	申込時に選択されたサービス
	ご契約者名	申込時に記入された[ご契約者様名]
	ご連絡メールアドレス	" [ご連絡先メールアドレス]



	IPv4 グローバルアドレス	サービスより付与された GIP(グローバル IP アドレス)
サーバー管理用コン	URL	[https://pro4.arena.ne.jp/]、固定
トロールパネル	ユーザ名	[IPv4 グローバルアドレス]、この ID でログイン
	パスワード	指定されたパスワード
契約情報管理用コン	URL	[https://customer.arena.ne.jp/suitepro/]、固定
トロールパネル(契約	ユーザ名	[IPv4 グローバルアドレス]、この ID でログイン
内容変更サービス)	パスワード	指定されたパスワード

[※]お申し込みに関する詳細は以下をご参照ください。https://web.arena.ne.jp/suitepro/entry/



3 新規お申込み(Indigo)

Cloudn からのサーバー移行に伴い、新たに「WebARENA Indigo」を利用される際は、オンラインお申込みから行います。こちらの URL からお申し込みください。

https://compas.arena.ne.jp/signup?_ga=2.244823750.259892354.1578285256-783005881.1558584590& fsi=T5TMBZnq



姓名、メールアドレス、電話番号、パスワード欄に入力してください。サービス利用規約に同意をし、"サインアップ"ボタンをクリックしてください。

入力したメールアドレス宛に、件名『[WebARENA]メールアドレスの確認 User Email Verification』のメールアドレス確認メールが送信されます。





メール本文内に記載されている「Verify your Email Address」のリンクをクリックしてください。
※**この時、サインアップの画面は閉じないでください。**サインアップ画面を閉じてしまった場合、メールアドレスの確認が完了していたら、サインアップ画面下の"サインイン"をクリックしてサインインしてください。電話番号の確認、が開始されます。

****WebARENA***

1 – 1	アップ
~	電話番号
<u>サービス利</u>	<u> 用規約</u> を同意します
サインフ	
	サインアップする場合 with Google
	サ <i>ードス和</i> サ イン) カウントでも



メールアドレス確認が完了したら、電話番号の確認画面へ遷移します。

自動発信番号か SMS を選択し、"確認コードを送信する"をクリックしてください。選択した方法で確認コードが配信され、確認コードの入力画面に遷移します。



確認コード欄に受信したコードを入力し、"入力する"をクリックしてください。 確認コードが正常に送信されたら、画面右上に「登録された電話番号に OTP が送信されました」とメッセージが表示されます。





確認コードの入力後、正常に処理がされたら、画面右上に「電話番号が正常に確認されました」と表示され、支払い情報の確認画面へ遷移します。

クレジットカード情報(カード番号、有効期限日、CVV 番号)、請求情報(名、姓、番地、市区町村、都道府県、郵便番号)を入力し、"確認する"ボタンをクリックしてください。





クレジットカードの確認が完了したら、サービスの選択画面へ遷移します。 下記、各種アンケートにお答えいください。

クーボンコードが適用されていることを確認の上、"完了する"ボタンをクリックしてください。





4 移行元「Cloudn」でのダウンロードリンク取得

WebARENA での契約申し込みが完了した後は、いよいよ移行作業を行っていきます。作業の最初に行う事は「Cloudn」でのダウンロードリンク取得です。行うべき作業は以下となります。

移行に際して、

- ・ ROOT ディスクのダウンロードリンクを取得する場合、事前に対象となる仮想サーバーの停止
- ・ DATA ディスクのダウンロードリンクを取得する場合、事前に対象となる仮想サーバの停止と対象 となるディスクのデタッチ

が必要となります。

Cloudn で提供しているディスクタイプには、『ROOT』と『DATADISK』の 2 種類があります。ディスクタイプによりダウンロードリンクの取得方法が異なりますので、手順については Cloudn のサイトをご確認ください。

なお、『DATADISK』は WebARENA Indigo へ移行することはできません。また、WebARENA Indigo の Windows 用には移行ツールはありません。

https://www.cloudn-service.com/migration_to_webarena

ダウンロードリンク作成にかかる時間(目安)

(ROOT ディスク):

- ・ テンプレート作成に 1GB あたり約 2 分程度。(変動の可能性はあります) ※テンプレート作成が完了するまで移行元サーバは起動はしない方が良いと考えます。
- ・ 作成したテンプレートを DL する際のリンク生成は約数秒程度。(変動の可能性はあります)

(DATA ディスク):

- ・ 移行ツールを用いて DL リンク生成する際の所要時間は約数秒程度。 ※移行先インスタンスの作成が完了するまで移行元サーバは起動しない方が良いと考えます。 ※データディスク 1 本分の所要時間のため、対象仮想サーバーにアタッチしてあるデータディスク 本数分、所要時間は必要でございます。
- ・ インストール時、データ転送にかかる時間目安:30GB あたり約20分程度、900GB あたり約10時間程度(変動の可能性はあります)

ダウンロードリンクには96時間の有効期限が設定されておりますので、ご注意ください。「Cloudn」でのバックアップ作業中にエラーが発生した場合は、Cloudnポータルの「お問い合わせ」からチケットを作成してください。

Cloudn において追加ディスクを設定されて行場合は、そのマウント設定を解除の上実施してください。 Linux の場合一般的にマウント設定は/etc/fstab に記載されており、正しくない書式の文字列が含まれている場合、サーバーが正常に起動しませんので、ご注意ください。

■Cloudn ポータル ログイン画面 https://auth.cloudn-service.com/auth/login



5 「WebARENA 新 Pro4」への移行(データインポート)

コントロールパネルにログイン

コントロールパネル(https://compas.arena.ne.jp/)からログインを行います。



お申し込みの際にお客さまが登録されたメールアドレスとパスワードを入力して、"サインイン"をクリックしてください。



サインインしたら、アクションの左側ボタンをクリックし、新 Pro4 のコントロールパネルへ遷移します。

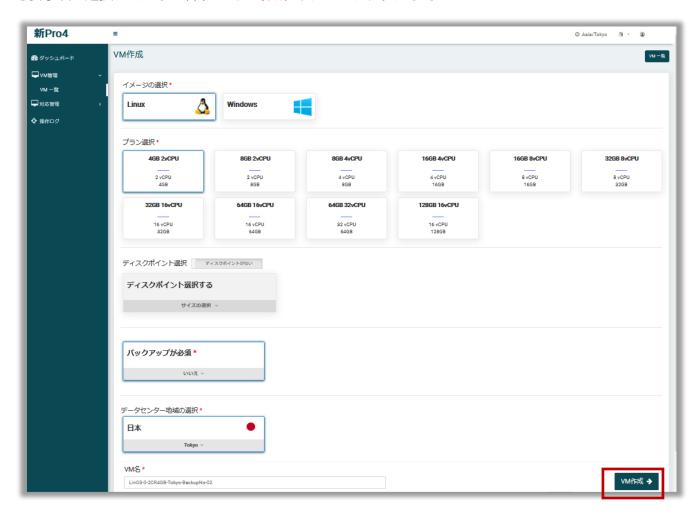




新 $\operatorname{Pro4}$ のダッシュボード、左メニューの「VM 管理」>「VM 一覧」をクリックし、画面右上の"VM 作成"ボタンをクリックします。



必要事項を選択、入力し、右下の"VM 作成"ボタンをクリックしてください。





イメージの選択: Cloudn でご利用のインスタンスと同じイメージを選択してください。

プラン選択: Cloudn でご利用のインスタンスと同等のサイズもしくは大きいサイズを選択してくだ

さい。小さいサイズが選択されたプランを選択すると、以降のファイルダウンロード処

理にてエラーになりますので、ご注意ください。

ディスクポイント: OS 領域(100GB)の他に追加ディスクが必要な場合、ここで必要なディスクポイント

を選択してください。

バックアップ:必要に応じて選択してください。

データセンター地域の選択:現在選択可能なのは「東京リージョン」のみです。

VM 名:任意の名称を入力してください。

VM が作成されると、「VM 管理」>「VM 一覧」に作成された VM が表示されます。 移行対象の VM の「アクション」メニュー、左側のボタンをクリックしてください。



サーバー管理コントロールパネルへ遷移します。



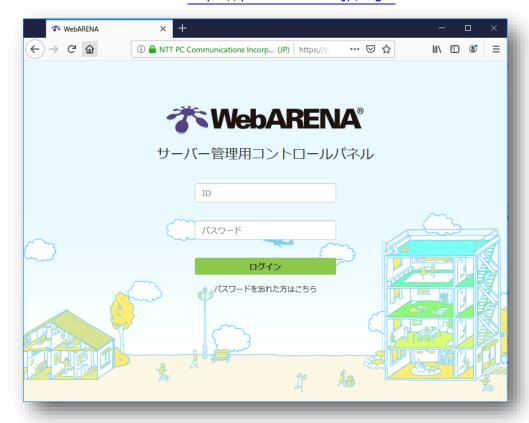
以降の作業は、本マニュアル P27 「6.1.移行ツールを使った Cloudn OS 領域の移行 – 「OS ディスクのインポート」(新 Pro4/PRO4)」に沿って作業を行います。



6 「WebARENA SuitePRO V4」への移行(データインポート)

1. コントロールパネルにログイン

サーバー管理用コントロールパネル(https://pro4.arena.ne.jp/login)にてログインを行います。



申し込み頂いたお客さまの連絡先メールアドレス※宛に開通通知が届きます。開通通知に記載されている、ID=[ユーザ名]、パスワード[開通通知内に記載]、を入力して

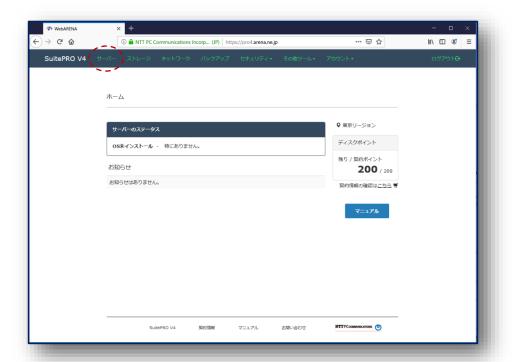
※1.新規お申込み、の開通通知には以下の情報がお送りされております、その情報を用いてログインします。

設定項目		具体的な値			
サーバ URL		[https://pro4.arena.ne.jp/]、固定			
一管理	ユーザ名	[IPv4 グローバルアドレス]、この ID でログイン			
用コン	パスワード	お客さまが指定したパスワード			
トロー					
ルパネ					
ル					

Cloudn からの移行に関して、移行ツールを使った移行方法をご紹介します。OS 領域は「移行ツールを使った CloudnOS 領域の移行」、データディスクは「移行ツールを使った Cloudn データディスクの移行」から実施します。次頁以降でそれぞれの操作方法を説明します。



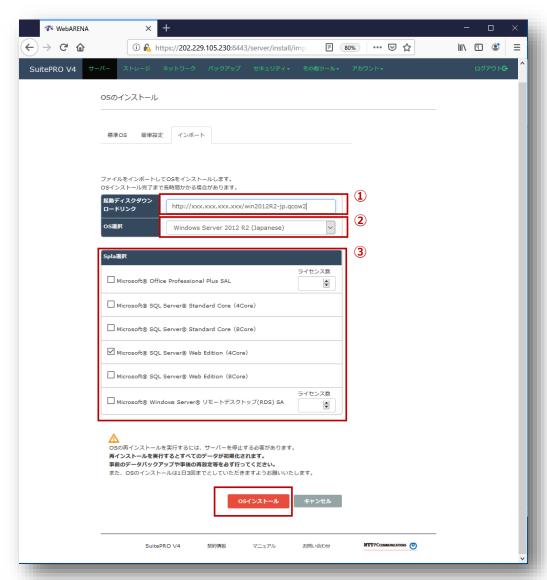
6.1.**移行ツールを使った** Cloudn OS **領域の移行 - 「**OS ディスクのインポート」(新 Pro4/PRO4)



ログインをしたら、画面上位にあるメニュータブ"サーバー"を選択します。



選択すると下記の画面が表示されます。 ここでは、以下の手順で移行を進めてください。



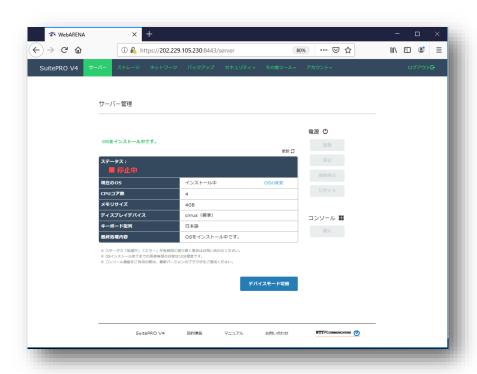
起動ディスクダウンロードリンクには、、Cloudnから取得した『ROOT』タイプのディスク URL を指定してください。『DATADISK』はここでは移行できません。

#	設定項目	設定/入力内容
1	起動ディスクダウン	Cloudn にて実施したバックアップイメージの「ダウンロード URL」を入力します
	ロードリンク	※『ROOT』タイプのディスク URL を入力してください
2	OS 選択	移行するVMで利用されているOS種別を選択します。Windows系OSを選択すると、③の選択が表示されます
3	Spla 選択	利用している Spla を選択ください。 複数の Spla を利用されている場合は、全てを選択する必要がございます

必要な情報を入力/選択、された後、[OS インストール]ボタンを押すと移行が開始されます。



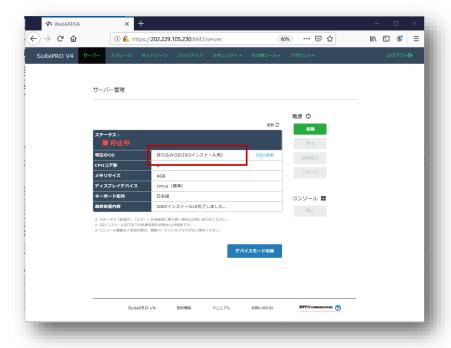
移行が開始されると下記の画面が表示されます。「現在の OS」項目内で、インストール中と表示されている最中は、移行が実行中の状態。しばらくお待ちください。作業実施時間は移行データの容量によりますが目安は以下の通りです。



移行データのサイズ	移行時間(目安)
30GB	20 分
900GB	600 分(10 時間)



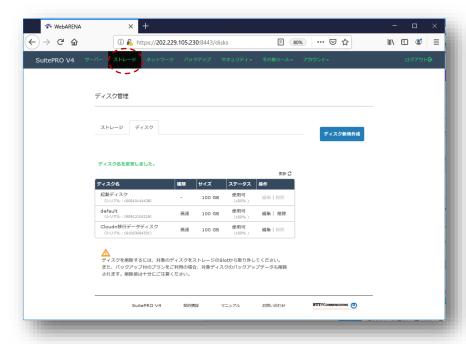
移行が完了すると下記の同じ項目内(現在の OS)の表示が、**持ち込み OS** に変わります。これをもって完了となります。



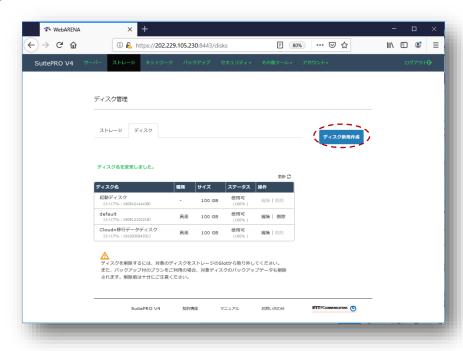


6.2. **移行ツールを使った** Cloudn データディスクの移行 - 「ストレージのインポート」(新 Pro4/PRO4)

次にデータディスクの移行を行います。画面上位にあるメニュータブ"ストレージ"を選択します。

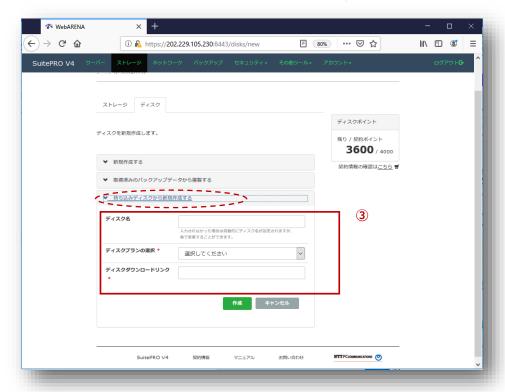


選択すると下記の画面が表示されます。次にボタン"**ディスク新規作成**"を押してください。新たな画面に 遷移します。





この画面にて、データディスクの移行を実施します。具体的な操作については以下。



はじめに"<mark>持ち込みディスクから新規作成する</mark>"をクリックし、入力設定フィールドをオープンさせます。 初期状態は新規作成する、が開いているため、上記の画面を表示させる事が必要です。 ディスクダウンロードリンクには、、Cloudn から取得した『DATADISK』タイプのディスク URL を指定 してください。『ROOT』はここでは移行できません。

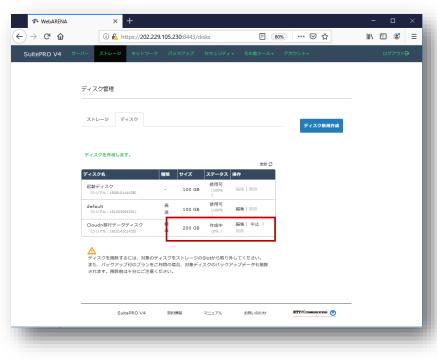
入力設定フィールドは以下の情報を入力/選択します。

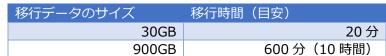
	TOT TOOK TOTAL CONTO		751 (CC) 7 0			
#	設定項目	設定/入力内容				
1	ディスク名	任意入力領域、後のディスクアタッチで用いるものとなります、 入力されたかった場合は自動的にディスク名が設定されます				
2	ディスクのプラン	以下が選択できます、ご契約ポイントに合わせて設定ください。				
			標準ディスク	高速ディスク		
			200GB	100GB		
			400GB	200GB		
				400GB		
			1,000GB	500GB		
3	ディスクダウンロードリ ンク	Cloudn にて実施したデータディスクのバックアップイメージ 「ダウンロード URL」を入力します				
		※『DATADISK』ディスクの URL を入力してください				

必要な情報を入力/選択、された後、[作成]ボタンを押すと移行が開始されます。

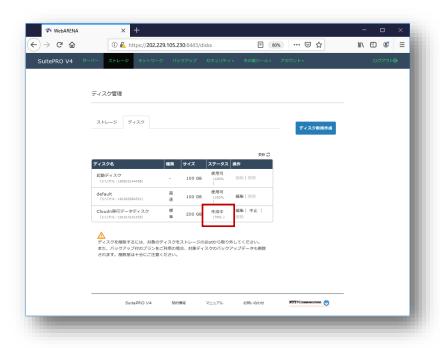


移行が開始されると下記の画面が表示されます。「現在の OS」項目内で、インストール中と表示されて最中は、移行が実行中の状態。しばらくお待ちください。作業実施時間は移行データの容量によりますが目安は以下の通りです。





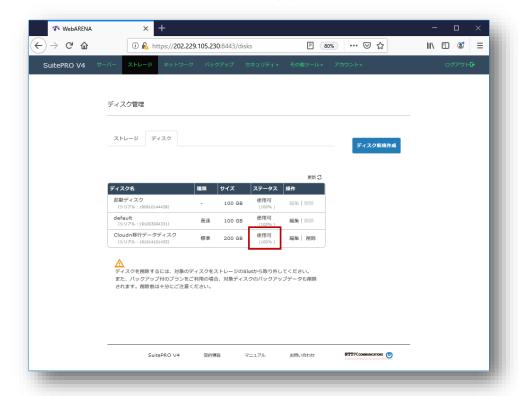
移行中はステータスにて"作成中"という表示と共に進捗率 (パーセンテージ) が表示されます。更新ボタン等で進捗率の推移を確認する事が出来ます。



#この例であると76%まで進捗した事が分かります。

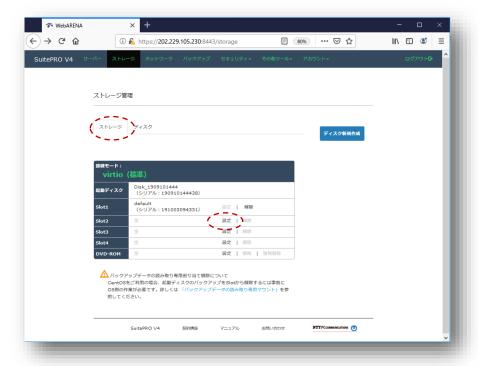


移行が終わると、同項目内の表示が**使用可(100%)**に変わります。これをもって完了となります。

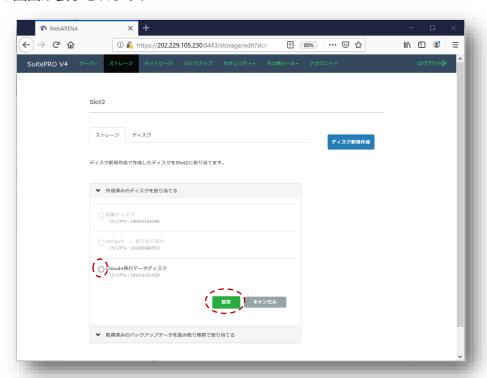




移行が完了したデータディスクは、ストレージとして利用できる様にアタッチします。手順は以下



タブ「<mark>ストレージ</mark>」をクリックし画面を表示させた後、設定されたい Slot の「設定」ボタンをクリックすると下記の画面が表示されます。

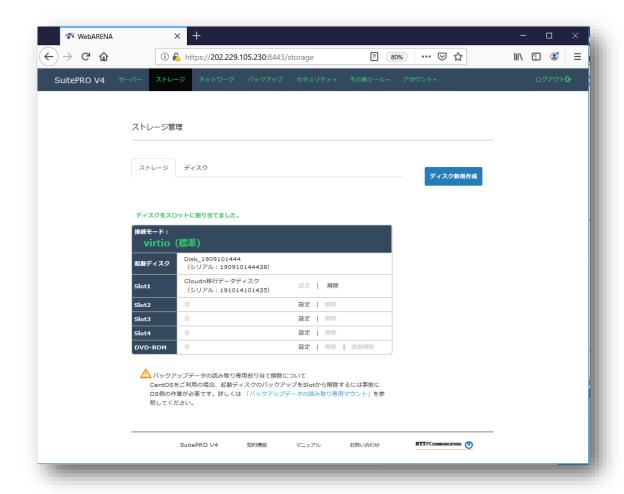


上記画面で、作成した移行データを持つデータディスクを選択、設定する事でデータディスクとしてアタッチされます。

#詳しくはオンラインドキュメントを参照ください。



Cloudn より「OS ディスクのインポート」と「データディスクのインポート」を行う事で移行が完了します。



#本資料の移行では「OS ディスクのインポート」と「データディスクのインポート」を説明しました。 ご利用頂いている構成においては「OS ディスクのインポート」のみの場合もございます。



. Cloudn OS 領域の移行が完了したら、仮想サーバーを起動して、仮想サーバー内の設定変更が必要となります。

仮想サーバーの設定には、PRO4 の契約で払い出されたネットワーク情報が必要となります。ネットワーク情報は、上部メニューのネットワークからネットワーク管理情報をご確認ください。



仮想サーバーの設定変更が必要な個所は、以下 2 か所になります。

- 1.1 NIC の設定(IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス)
- 2.1 NTP サーバーの設定



Cloudn OS 領域の移行 – 「OS ディスクのインポート」が完了した直後、仮想サーバーは**停止中**となっています。**"起動"**ボタンをクリックして、仮想サーバーを起動させてください。



仮想サーバーの起動が完了したら、"ステータス"が**起動中**となります。 仮想サーバーが起動したら、右下の"開く"ボタンをクリックしてコンソールから仮想サーバーにログインし、仮想サーバーの設定変更をしてください。





7 「WebARENA Indigo」への移行(データインポート)

コントロールパネルにログイン

コントロールパネル(https://indigo.arena.ne.jp/)からログインを行います。



お申し込みの際にお客さまが登録されたメールアドレスとパスワードを入力して、"サインイン"をクリックしてください。

2. ログイン後、右上の"インスタンスの作成"をクリックしてください。





3. Cloudn で払い出された URL を使って、インスタンスの作成をします。



それぞれ、下記の項目の設定・入力をし、最後に右下の"インスタンスの作成"をクリックしてください。インポートURLには、Cloudnから取得した『ROOT』ディスクのURLを指定してください。『DATADISK』は Indigo では移行できません。

#	設定項目	設定/入力内容
1	サイズの選択	Cloudn でご利用のインスタンスと同等のサイズもしくは大きいサイズを選択してください。 小さいサイズが選択された状態でファイルがダウンロードされると、ダウンロード後にエラーになります。
2	イメージの選択	"Import VM"の「バージョンを選択する」から「Import URL」を選択してください。
3	インポート URL	Cloudn にて実施したバックアップイメージの「ダウンロード URL」を入力してください。 ※Cloudn から取得した URL は『ROOT』ディスクのものを指定してください。 『DATADISK』は Indigo では移行できません。
4	リージョンの選択	「日本」を選択してください。
(5)	インスタンス名の入力	任意のインスタンス名を登録してください。



ファイルのダウンロードが開始されると、インスタンスの一覧が表示され、"ステータス"のメッセージに 『ディスクイメージがダウンロード中です』と表示されますので、しばらくお待ちください。



ファイルのダウンロードが完了したら、"ステータス"が『Stopped』に変わります。





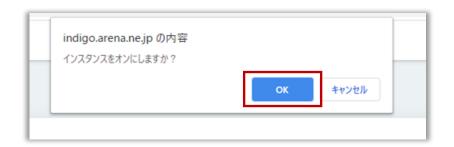
ファイルのダウンロードが完了した直後はインスタンスは停止状態なので、インスタンスの起動が必要です。

対象インスタンスの操作メニューにある"操作"をクリックし、プルダウンメニューから『アクセス』を選択してクリックします。



対象インスタンスの画面が表示されるので、"インスタンスの起動"をクリックしてください。 すると、確認のためのポップアップ画面が表示されるので、"OK"をクリックしてください。







インスタンスが起動したら、"コンソールアクセス"画面が表示されます。『コンソールを起動』をクリックし、コンソール画面を起動し、インスタンスにログインしてください。







8. 移行後の NIC 情報変更 (IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、MAC

アドレス、DNS サーバー変更) (CentOS6.5)

コンソール画面が開いたら、**root** アカウントでログインしてください。 まず、下記のコマンドで既存設定のバックアップを取得します。

cp -p /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0 /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0.bak

次に NIC の設定ファイルを「vi」コマンドで開き、以下の項目の値を編集します。 # vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0

くく編集項目>>

IPADDR: Indigo/PRO4 で払い出された IP アドレス(PRO4 および Indigo はコントロールパネルで確認)

NETMASK: Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は「255.255.255.0」を設定)

GATEWAY: Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は IPADDR の第四オクテットを『1』にして設定)

HWADDR: Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は「ip a」コマンドで確認)

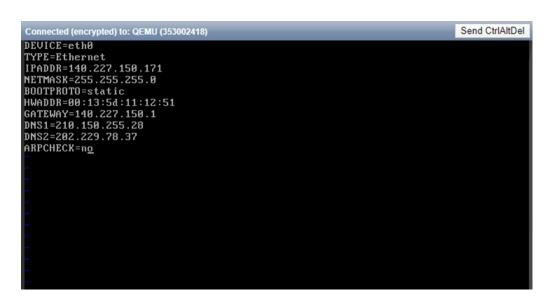
DNS1: お客さまご利用の DNS サーバー *1 **DNS2:** お客さまご利用の DNS サーバー *1

*1 NTTPC が管理する各サービスで提供しているネームサーバーをご利用の場合は、下記の IP を入力してください。 <Indigo>

DNS1: 140.227.1.208 DNS2: 202.17.152.148

<PRO4>

DNS1: 210.150.255.28 DNS2: 202.229.78.37



NIC の情報を変更したら、変更内容を保存して「vi」エディタを閉じてください。



変更内容を反映させるために、以下のコマンドでネットワークプロセスの再起動を実行し、正常にプロセスが起動したことをご確認ください。

service network restart



9. 移行後の NTP サーバー情報変更(CentOS6.5)

下記のコマンドで既存設定のバックアップを取得します。

cp -p /etc/ntp.conf /etc/ntp.conf.bak

次に NTP サーバーの設定ファイルを「vi」コマンドで開き、以下の項目の値を編集します。

vi /etc/ntp.conf

```
# Permit all access over the loopback interface. This could
# be tightened as well, but to do so would effect some of
# the administrative functions.
restrict 127.0.0.1
restrict -6 ::1
restrict 210.150.255.35
restrict 210.150.255.35
restrict 203.138.71.202
restrict 92.168.1.0 mask 255.255.255.0 nomodify notrap
# Hosts on local network are less restricted.
#restrict 192.168.1.0 mask 255.255.255.0 nomodify notrap
# Use public servers from the pool.ntp.org project.
# Please consider joining the pool (http://www.pool.ntp.org/join.html).
#server 0.centos.pool.ntp.org iburst
#server 1.centos.pool.ntp.org iburst
#server 2.centos.pool.ntp.org iburst
#server 3.centos.pool.ntp.org iburst
#server 210.150.255.35
server 210.150.255.51
server 203.138.71.202
fudge 127.127.1.8 stratum 10
```

ファイルに下記8行を追記してください。

※ntp.conf に対してお客さま自身で個別に何等かの設定を追加されていた場合は、下記の内容に加えて設定が必要な場合があります。

```
くく追記項目>>
```

restrict 210.150.255.35

restrict 210.150.255.51

restrict 203.138.71.202

restrict 0.0.0.0 mask 255.255.255.255 ignore

server 210.150.255.35

server 210.150.255.51

server 203.138.71.202

fudge 127.127.1.0 stratum 10

NTP サーバーの設定ファイルを変更したら、変更内容を保存して「vi」エディタを閉じてください。変更内容を反映させるために、以下のコマンドでネットワークプロセスの再起動を実行し、正常にプロセスが起動したことをご確認ください。

service ntpd restart



【参考】OSごとに「NIC 情報変更」と「NTP サーバー情報変更」の方法を記載します。

1.1 移行後の NIC 情報変更(IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、DNS サーバー変更)(CentOS 7.1/CentOS 7.5)

コンソール画面が開いたら、**root** アカウントでログインしてください。 まず、下記のコマンドで既存設定のバックアップを取得します。

cp -p /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0 /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0.bak

次に NIC の設定ファイルを「vi」コマンドで開き、以下の項目の値を編集します。

vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0

くく編集項目>>

IPADDR:Indigo/PRO4 で払い出された IP アドレス(PRO4 および Indigo はコントロールパネルで確認) **NETMASK:** Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は「255.255.255.0」を設定)

GATEWAY: Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は IPADDR の第四オクテットを『1』にして設定)

HWADDR: Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は 「ip a 」 コマンドで確認)

DNS1:お客さまご利用の DNS サーバー *1 **DNS2:**お客さまご利用の DNS サーバー *1

*1 NTTPC が管理する各サービスで提供しているネームサーバーをご利用の場合は、下記の IP を入力してください。 <Indigo>

DNS1: 140.227.1.208 DNS2: 202.17.152.148

<PRO4>

DNS1: 210.150.255.28 DNS2: 202.229.78.37

> Connected (encrypted) to: TYPE="Ethernet" BOOTPROTO="none" DEFROUTE="yes" IPV4_FAILURE_FATAL="no" IPV6INIT="yes" IPV6_AUTOCONF="yes" IPV6_DEFROUTE="yes" IPV6_FAILURE_FATAL="no" NAME="eth0" DEVICE="eth0" ONBOOT="yes" IPADDR=140.227.150.171 PREFIX=24 GATEWAY=140.227.150.1 HWADDR=00:13:5d:11:12:51 DNS1=210.150.255.28 DNS2=202.229.78.37 IPU6_PEERDNS="yes" IPV6_PEERROUTES="yes"

NIC の情報を変更したら、変更内容を保存して「vi」エディタを閉じてください。



変更内容を反映させるために、以下のコマンドでネットワークプロセスの再起動を実行し、正常にプロセスが起動したことをご確認ください。

systemctl restart network.service

1.2 移行後の NTP サーバー情報変更 (CentOS 7.1 / 7.5)

下記のコマンドで既存設定のバックアップを取得します。

cp -p /etc/ntp.conf /etc/ntp.conf.bak

次に NTP サーバーの設定ファイルを「vi」コマンドで開き、以下の項目の値を編集します。 # vi /etc/ntp.conf

```
# For more information about this file, see the man pages
# ntp.conf(5), ntp_acc(5), ntp_auth(5), ntp_clock(5), ntp_misc(5), ntp_mon(5).

driftfile /var/lib/ntp/drift
# Permit time synchronization with our time source, but do not
# permit the source to query or modify the service on this system.
restrict default nomodify notrap nopeer noquery
# Permit all access over the loopback interface. This could
# be tightened as well, but to do so would effect some of
# the administrative functions.
restrict 127.6.8.1
restrict 218.158.255.35
restrict 218.158.255.35
restrict 218.158.255.55
restrict 218.158.255.55
restrict 328.138.71.282
restrict 9.8.8.8 mask 255.255.255.255.8 nomodify notrap
# Use public servers from the pool .ntp.org project.
# Please consider joining the pool (http://www.pool.ntp.org/join.html).
### Restrict 192.168.1.0 mask 255.255.255.35
### Restrict 192.168.1.0 mask 255.35
### Restrict 192.168.1.0 mask 255.35
### Restrict 192.168.1.0 mask 255.255.255
### Restrict 192.168.1.0 mask 255.255.255
### Restrict 192.168.1.0 mask 255.255
### Restrict 192.168.1.0 mask 255.35
### Restrict 192.168.1.255
### Rest
```

ファイルに下記8行を追記してください。

※ntp.conf に対してお客さま自身で個別に何等かの設定を追加されていた場合は、下記の内容に加えて設定が必要な場合があります。

<<追記項目>>

restrict 210.150.255.35 restrict 210.150.255.51

restrict 203.138.71.202

restrict 0.0.0.0 mask 255.255.255.255 ignore

server 210.150.255.35

server 210.150.255.51

server 203.138.71.202

fudge 127.127.1.0 stratum 10



NTP サーバーの設定ファイルを変更したら、変更内容を保存して「vi」エディタを閉じてください。変更内容を反映させるために、以下のコマンドでネットワークプロセスの再起動を実行し、正常にプロセスが起動したことをご確認ください。

systemctl restart ntpd



2.1 移行後の NIC 情報変更 (IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバー変更) (Ubuntu16.04)

コンソール画面が開いたら、root アカウントでログインしてください。 まず、下記のコマンドで既存設定のバックアップを取得します。 # sudo cp -p /etc/network/interfaces /etc/network/interfaces.bak

次に NIC の設定ファイルを「vi」コマンドで開き、以下の項目の値を編集します。

sudo vi /etc/network/interfaces

```
# This file describes the network interfaces available on your system
# and how to activate them. For more information, see interfaces(5).

source /etc/network/interfaces.d/*

# The loopback network interface
auto lo
iface lo inet loopback

# The primary network interface
auto ens10
iface ens10 inet static
address 140.227.150.171
netmask 255.255.255.0
gateway 140.227.150.1
dns-nameservers 210.153.73.194 202.229.73.37
```

くく編集項目>>

address: Indigo/PRO4 で払い出された IP アドレス(PRO4 および Indigo はコントロールパネルで確認) **netmask:** Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は「255,255,255,0」を設定)

gateway: Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は IPADDR の第四オクテットを『1』にして設定)

dns-nameservers: お客さまご利用の DNS サーバー *1

*1 NTTPC が管理する各サービスで提供しているネームサーバーをご利用の場合は、下記の IP を入力してください。 <Indigo>

dns-nameservers: 140.227.1.208 202.17.152.148

<PRO4>

dns-nameservers: 210.150.255.28 202.229.78.37

NIC の情報を変更したら、変更内容を保存して「vi」エディタを閉じてください。 変更内容を反映させるために、以下のコマンドでネットワークプロセスの再起動を実行し、正常にプロセスが起動したことをご確認ください。

sudo systemctl restart networking.service



2.2 移行後の NTP サーバー情報変更(Ubuntu16.04)

下記のコマンドで既存設定のバックアップを取得します。

sudo cp -p /etc/systemd/timesyncd.conf /etc/systemd/timesyncd.conf.bak

次に NTP サーバーの設定ファイルを「vi」コマンドで開き、以下の項目の値を編集します。

sudo vi /etc/systemd/timesyncd.conf

```
# This file is part of systemd.

# systemd is free software; you can redistribute it and/or modify it

# under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by

# the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or

# (at your option) any later version.

# Entries in this file show the compile time defaults.

# You can change settings by editing this file.

# Defaults can be restored by simply deleting this file.

# See timesyncd.conf(5) for details.

ITime!

NTP=210.150.255.35

NTP=210.150.255.51

NTP=203.138.71.202

#RootDistanceMaxSec=5

#PollIntervalMinSec=32

#PollIntervalMaxSec=2048
```

ファイルに下記3行を追記してください。

※ntp.conf に対してお客さま自身で個別に何等かの設定を追加されていた場合は、下記の内容に加えて設定が必要な場合があります。

くく追記項目>>

NTP=210.150.255.35 NTP=210.150.255.51 NTP=203.138.71.202

NTP サーバーの設定ファイルを変更したら、変更内容を保存して「vi」エディタを閉じてください。変更内容を反映させるために、以下のコマンドでネットワークプロセスの再起動を実行し、正常にプロセスが起動したことをご確認ください。

sudo systemctl restart systemd-timesyncd.service



3.1 移行後の NIC 情報変更 (IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバー変更) (Ubuntu18.04)

コンソール画面が開いたら、**root** アカウントでログインしてください。 まず、下記のコマンドで既存設定のバックアップを取得します。 # sudo cp -p /etc/netplan/01-netcfg.yaml /etc/netplan/01-netcfg.yaml.bak

次に NIC の設定ファイルを「vi」コマンドで開き、以下の項目の値を編集します。 # sudo vi /etc/netplan/01-netcfg.yaml

```
# This file describes the network interfaces available on your system
# For more information, see netplan(5).
network:

version: 2
renderer: networkd
ethernets:
    ens10:
    addresses:
    - 140.227.150.171/24
    gateway4: 140.227.150.1
    nameservers:
    addresses:
    - 210.150.255.28
    - 202.229.78.37
```

くく編集項目>>

addresses: Indigo/PRO4 で払い出された IP アドレス(PRO4 および Indigo はコントロールパネルで確認)

gateway4: Indigo/PRO4 で設定されている内容(PRO4 はコントロールパネルを確認、Indigo は IPADDR の第四オクテットを『1』にして設定)

nameservers addresses: お客さまご利用の DNS サーバー *1

*1 NTTPC が管理する各サービスで提供しているネームサーバーをご利用の場合は、下記の IP を入力してください。 <Indigo>

 $names ervers\ addresses: 140.227.1.208\ 202.17.152.148$

<PRO4>

nameservers addresses: 210.150.255.28 202.229.78.37

NIC の情報を変更したら、変更内容を保存して「vi」エディタを閉じてください。 変更内容を反映させるために、以下のコマンドでネットワークプロセスの再起動を実行し、正常にプロセスが起動したことをご確認ください。

sudo netplan apply

3.2 移行後の NTP サーバー情報変更(Ubuntu18.04)

下記のコマンドで既存設定のバックアップを取得します。 # sudo cp -p /etc/systemd/timesyncd.conf /etc/systemd/timesyncd.conf.bak



次に NTP サーバーの設定ファイルを「vi」コマンドで開き、以下の項目の値を編集します。 # sudo vi /etc/systemd/timesyncd.conf

```
# This file is part of systemd.

# systemd is free software; you can redistribute it and/or modify it
# under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by
# the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or
# (at your option) any later version.

# Entries in this file show the compile time defaults.
# You can change settings by editing this file.
# Defaults can be restored by simply deleting this file.
# See timesyncd.conf(5) for details.

[Time]
NIP=210.150.255.35
NIP=210.150.255.51
NIP=203.138.71.202
#RootDistanceMaxSec=5
#PollIntervalMinSec=32
#PollIntervalMinSec=32
#PollIntervalMaxSec=2048
```

ファイルに下記3行を追記してください。

※ntp.conf に対してお客さま自身で個別に何等かの設定を追加されていた場合は、下記の内容に加えて設定が必要な場合があります。

くく追記項目>>

NTP=210.150.255.35 NTP=210.150.255.51 NTP=203.138.71.202

NTP サーバーの設定ファイルを変更したら、変更内容を保存して「vi」エディタを閉じてください。変更内容を反映させるために、以下のコマンドでネットワークプロセスの再起動を実行し、正常にプロセスが起動したことをご確認ください。

sudo systemctl restart systemd-timesyncd.service



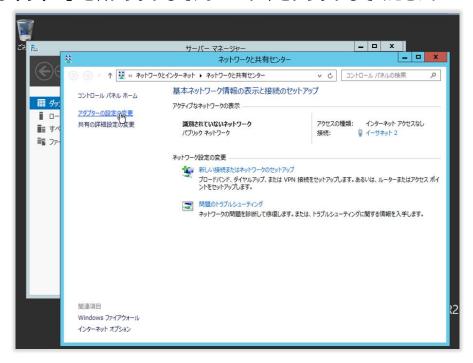
4.1移行後の NIC 情報変更 (IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバー変更) (WindowsServer 2012R2)

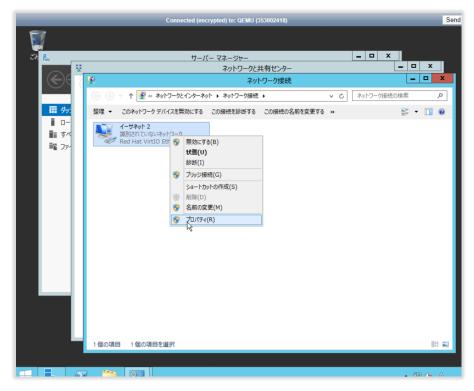
コンソール画面が開いたら、administrator アカウントでログインしてください。 ログインしたら、

「コントロール パネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」

を順にクリックしてください。

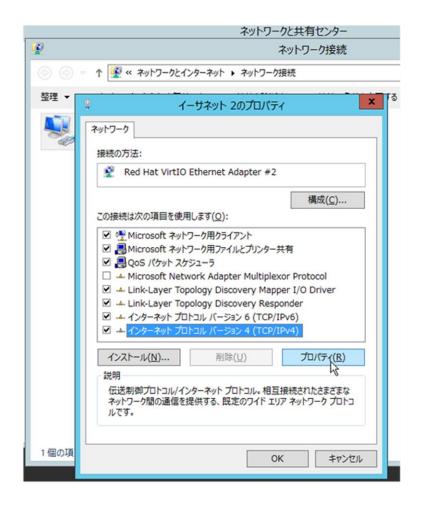
最後に「イーサネット 2」を右クリックして、プロパティをクリックしてください。







インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)を選択し、プロパティをクリックし、以下の項目をご契約の PRO4 の情報に沿って以下の項目に対して値を入力してください。



IP アドレス: PRO4 で払い出された IP アドレス(サーバー管理コントロールパネルから確認) サブネットマスク: PRO4 で払い出された IP アドレス(サーバー管理コントロールパネルから確認) デフォルトゲートウェイ: PRO4 で払い出された IP アドレス(サーバー管理コントロールパネルから確認) 認)

優先 DNS サーバー: お客さまご利用の DNS サーバー *1 代替 DNS サーバー: お客さまご利用の DNS サーバー *1

*1 NTTPC が管理する PRO4 で提供しているネームサーバーをご利用の場合は、下記の IP を入力してください。

優先 DNS サーバー: 210.150.255.28 代替 DNS サーバー: 202.229.78.37

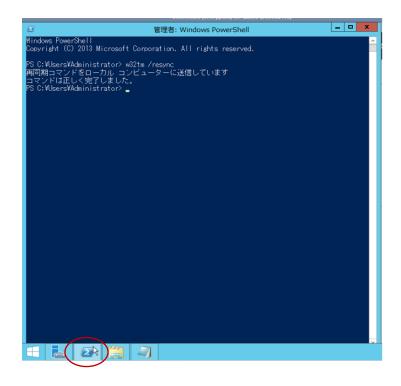
各項目に対して値を入力したら"OK"をクリックしてください。



4.2 移行後の NTP サーバー情報変更(WindowsServer 2012R2)

下部に表示されている Windows PowerShell を起動して、以下のコマンドを実行し、時刻の同期を行ってください。

w32tm / resync



次に、ライセンス認証を行うため、下記のコマンドを実行して認証サーバーの設定を行ってください。

Slmgr.vbs /skms 210.150.255.170



